

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

CERESPO

セレスポ

セレスポ・ニュース
平成 28 年 12 月発行
第 87 号

NEWS vol. 87 December 2016



超人スポーツゲームズ

人の限界を超えたスポーツ
“超人スポーツ”が日本初となる
競技会を開催しました！

セレスポ
Pick Up

「東京都スポーツ推進企業」に
セレスポが認定されました！



2016年11月23日、超人スポーツ協会が日本初の競技会を開催。「人とテクノロジーを融合し、誰でも楽しめる」を目指した人機一体のさまざまな競技が披露されました。身体に機器を装着し、身体能力を高める。まさに人を超えた超人たちが競い合う超人スポーツの祭典の様子をレポートします。



超人スポーツゲームズ 人を超えたスポーツを 日本初の競技会を実施



スポーツの長い歴史に 新たな歴史を加えたい

スポーツは人類の長い歴史とともに進化。選手、チームがそれぞれの身体や精神の限界に挑戦し、マラソン、サッカー

などで競い合ってきました。超人スポーツは、そのような人の身体の限界を超えるまったく新しいスポーツのことを指します。

「日本は古くから鉄腕アトムやサイボーグ009、ドラえもんなどSFに慣れ親しんでいます。昔は漫画やアニメなど、夢物語だったことが今はテクノロジーの

力で実現できるのではないかと……そう本気で考えた大人たちが、真面目にテクノロジーと人を結びつけてまったく新しい“楽しみ”を生み出そうとしている。これが超人スポーツの魅力のひとつだと考えています」(超人スポーツ協会)

世界でも身体に機器を装着し、身体の“拡張”や“補う”ことで、日常生活を

Interview



先周りした対応がトラブル回避のポイントでした。

今回が初開催だったので、特に気をつけたのは「トラブルを起こさないこと」。僕は昔から日本のポップカルチャーに興味がありました。アニメ制作会社などが多い練馬で生まれ育ち、友達との話題も自然に漫画やアニメなど。でも、ある時期を境にいわれる“オタク”文化への風当たりが強くなってしまいました。だからこそ悪い印象を持たれないようにトラブルは絶対に避けたいと考えていました。

セレスポさんは企画の段階からいろいろ相談に乗ってくれました。初めてのことから自分たちだけではリスクがわかりません。想像できる

範囲のリスクを伝えると「ここも気をつけましょう」と提案してくれたので助かりました。当日「ネットがないとボールが外に飛び出してしまう」と想定外のリスクが見つかったも「すぐにネットを設置しましょう!」と対処してくれました。先周りした対応のおかげで無事終えられたと感謝しています。

これからも超人スポーツは進化し、競技数も増えていきます。運営する私たちも対応していかないとはいけません。セレスポさんには、今後も力を貸してもらいながら一緒にノウハウを貯めて、超人スポーツを盛り上げていてもらいたいと考えています。



超人スポーツ協会事務局
安藤 良一(あんどうりょういち) さん



「また来年も！」と
思ってもらえるように



株式会社セレスポ
東京支店
丸山 至
(まるやま いたる)

超人スポーツでは「何のため、誰のための大会なのか」を徹底的に考えました。いままでになかったスポーツを生み出し、競技として披露する。主催するかたがたにとっては最初の一步になり、来場するかたにとっては超人スポーツの第一印象になる。会場づくり、雰囲気には特に気を遣い提案しました。主催者さまにスケジュールの管理から進行手順、映像の見せかたなどをレクチャーするほか、障がいのあるかたへの声かけを意識するなど、主催者、来場者どちらにも不安を感じさせず、「また来年も！」と思ってもらえるように注意を払っていました。

セレスポの仕事は何にでもトライできるところが魅力だと感じています。超人スポーツも同じように「誰でも楽しめるスポーツを生み出す」ことにトライしています。それぞれの競技には開発者や選手の強い想いやこだわりがある。ひとつひとつの競技の魅力が伝わるように私もこだわりを持って仕事をしていました。

安心安全など当たり前なことを当たり前にやっていく。それだけではなく経験を基に「きっとこれが必要になるだろう」と考えながら、主催者さまと一緒にイベントを作っていく。イベントが無事に終了して安心しましたが、打ち合わせの段階から積極的にいろいろ提案させていただいたので、今は寂しさも感じます。ゆくゆくは国際的な「超人スポーツゲームズ」の大会も開催できるよう、主催者さまと一緒に育てていきたい。そのために今回を振り返って「もう少しできたな」と思うところは第二回に生かして盛り上げていきたいです。



サポートする動きが活発になってきています。日本は2020年東京オリンピック・パラリンピックを控えていることもあり、“スポーツ”に着目。人とテクノロジーを融合し「人を越えたスポーツの確立」を目指していると協会は語ります。

「身体を改造して足が速くなる、遠くのものが見える、必殺技が使える、そういう憧れって誰でも抱いたことがあると思うのです。そんな夢をテクノロジーの力を借りて実現。年齢や体格、障がいなどの差を超えて誰でも楽しめるスポーツを創り上げたいと考えています」(超人スポーツ協会)

可能性が見つかる 体験できるイベント

都内で開催された「第一回 超人スポーツゲームズ」では、足にバネを仕込んだ竹馬を装着し透明な球体を被ってぶつかり合う「バブルジャンパー」、手綱のついたホイールマシン「キャリオット」を使ったレースのほか、「AR(拡張現実)」を使い誰もが知っている必殺技で戦う「HADO®」、パーソナルモビリティによる「HOVER CROSSE」などの人機一体の超人スポーツを披露。

普段車いすを使って生活をしているかたや芸術学部の学生が選手としてトーナ

メントに出場。超人スポーツが「誰でも楽しめる」ものである可能性を示しました。また、会場には一般参加者も含めて200人以上が集まり、超人スポーツを楽しめる体験会も実施。ドリフトなどアクティブな動きができる車いすや、ドローンを使った様々な超人スポーツを、大人と子どもと一緒に楽しんでいました。

「車いすを使ってみて、いろいろな可能性があることに気付きました。重いものでも車いすがあれば楽に運べる。こうした利便性もスポーツを通して知ってもらいたいのです。今後はスポーツ選手などにも積極的に体感してもらいたい。車いすだけではなく、こうした機器を使えば誰でも一緒に楽しめる、体験、活用できるものだと認知してもらいたいと考えています」(超人スポーツ協会)

EventData

- 2016年11月23日 10:00~18:00
 - 来場無料
 - 東京タワーメディアセンター
 - 超人スポーツ協会 (共催:慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)
- 本 部: 〒107-0052
東京都港区赤坂4-3-26
マスターズ赤坂301号
- 事務局: 〒223-8526
神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 協生館6F 南澤准教授室内
- Eメール: contact@superhuman-sports.org

セレスポ
Pick Up

セレスポが行っているスポーツ支援をご紹介 「東京都スポーツ推進企業」に認定!

セレスポは、東京都のスポーツ推進企業認定制度において、従業員のスポーツ活動の促進に向けて優れた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業として昨年度に続き「平成28年度東京都スポーツ推進企業」に認定されました。東京都スポーツ推進企業は、従業員のスポーツ活動を支援している、または社会貢献活動を実施している企業を東京都オリンピック・パラリンピック準備局が認定。2020年に向けて「スポーツ都市東京」を幅広く都民に認知してもらうため、スポーツに対する社会的気運の醸成を都が認定企業と一緒に働きかけていこうとしています。

今回特に評価いただいたのは、陸上部所属選手による「セレスポ陸上クリニック」。セレスポ所属の3選手により、中学生にスポーツを直接指導しスポーツの楽

しさを体感してもらう活動です。2月に藤沢沙也加選手の出身地である岩手県滝沢市で開催し、12月7日(水)には中村真悠子選手の出身地である静岡県磐田市で開催しました。このほかにもセレスポでは次のような活動を行っています。

1. 社内クラブ活動支援

ワーク・ライフ・バランスを意識した制度として社員のクラブ活動費用の一部を補助する「クラブ活動支援制度」を設けています。定期的にスポーツを行うのは、社員の健康を保ち、体力作りにも役立つほか、コミュニケーションも促進されます。この制度を利用し、現在は8クラブ、105名が参加。さらに、会社が加盟している業界団体の主催するスポーツ大会を活用し、クラブメンバーのモチベーション向上にも役立てています。

2. 陸上部の保有と陸上クリニックの開催

陸上選手を社員として雇用し、選手の夢の実現をサポート。社員に応援を呼びかけ、「一緒に応援をする」ことで社内の一体感にもつなげています。オフシーズンには、所属選手が講師を務めて地域の子どもたちを対象に陸上クリニックを開催。スポーツの楽しさを伝えています。

3. 競技団体への支援

各競技団体への協賛を行うと共に、日本パラ陸上競技連盟の広報業務や日本トリアスロン連合のキッズトリアスリートの育成支援に協力。スポーツ競技を幅広く楽しんで貰えるような支援を実施しています。

今回の認定を受けセレスポは、さらなるスポーツ振興に向けて、スポーツによる社員の健康・体力の増進をはじめ、アスリートおよび競技団体への支援を通じたスポーツ界の発展に寄与。スポーツによるコミュニケーションを通じて地域振興を支援することで、笑顔のある明るい社会づくりに貢献していきます。



INFORMATION

イベントの持続可能性に関する国際標準規格ISO 20121 認証取得

株式会社セレスポ(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:稲葉 利彦)は、全国26拠点の全てにおいて、イベントの持続可能性に関するマネジメントシステムの国際標準規格である「ISO 20121」の認証を取得いたしました。

発行 発行日:平成28年12月20日

発行元 株式会社セレスポ
(CERESPO CO.,LTD.)
〒170-0004
東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)
TEL:03(5974)1111
FAX:03(5394)7651
http://www.cerespo.co.jp/

編集 山川 譲 (yawn)
記事 コーポレートデザイン室
デザイン ジッピーデザイン

編集後記

超人スポーツと出会ったのは2年前。人間の身体能力をテクノロジーで拡張し、その人が持つ能力を超えた力を身につける、あるいは年齢や障がいなどの身体差によるバリアを無くすスポーツを創りだす。縁があってセレスポと一緒に「第一回超人スポーツゲームズ」を作っていく機会をいただきました。私たちが幼い頃にテレビで見たアニメやゲームの世界が現実になる一歩を踏み出した新しい試みをお手伝いできたのはとても良い経験。しかし、夢見た世界とはまだまだ距離があるのも事実。世間で行われている新しい試みの中には周囲になかなか理解されにくいものや技術が追い付いていないものなどがたくさんあります。こうした試みは

続けていくことで洗練され、精度が高まり皆さんに愛されるものになっていくこともあります。「現代のテクノロジーを駆使して、誰もがスポーツを楽しめる未来を創りだそう」と考えている超人スポーツもそのひとつ。

人とテクノロジーを組み合わせる新たなコミュニケーションを生み出す。社会を明るく、楽しいものへと変えていく超人スポーツをこれからも応援し続けたいと思います。

前号からリニューアルを試みた「CERESPO NEWS」もセレスポが考える皆さまとの新しいコミュニケーション。皆様を楽しみにしてもらえよう育てていきたいと思っています。